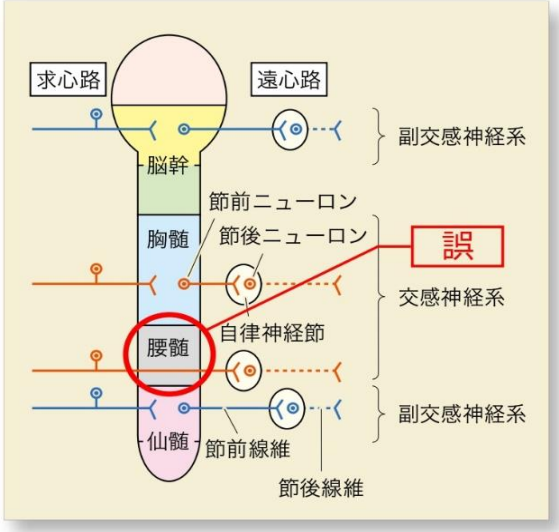
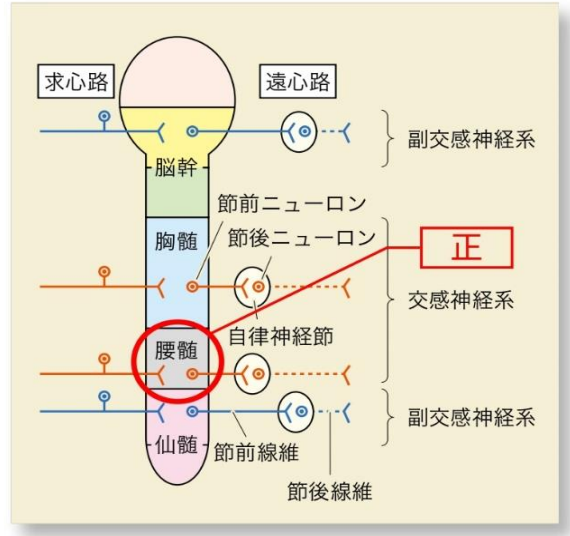
『ビジュアル生理学・口腔生理学』正誤表（2025年３月発行 第４版 第１刷）

本書におきまして，記載内容に誤りがございました．下記の通り訂正し，お詫び申し上げます．

頁	訂正箇所	誤	正
98	上から２行目	終板電位が閾値に達すると 活動電位が発生して，～	終板電位が閾膜電位に達すると 活動電位が発生して，～
244	下から３行目	歯根膜および歯肉の受容器の一部と 咀嚼筋筋紡錘を支配する．	歯根膜および歯肉の受容器の一部と 閉口筋筋紡錘を支配する．
247	表15-2 口腔領域における 感覚閾値 感覚閾値が低い部位 （敏感な部位）の順位	痛覚（Frey毛痛覚閾値） １．硬口蓋	痛覚（Frey毛痛覚閾値） １．軟口蓋
301	上から12行目	30回咀嚼後のグミゼリーからの～	20秒咀嚼後のグミゼリーからの～

32頁

■図 2-25■節前ニューロンと節後ニューロン



■図 2-25■節前ニューロンと節後ニューロン